

# 2021-22 六甲部部報<冬号>

～(三方よしで)みんな笑顔～

No. 1 2022年1月



2021-22年度 折返し点で想うこと

2021-22 六甲部部长 大野智恵



西日本区第2回役員会で、「西日本区役員任期の見直す案」が協議案として出されました。複数年担当した方が、運営がしやすいという考えも出ましたが、私としては、負担の大きさから考えて避けた方が良いと思い、今まで同様一年で交代でという

意思表示をしました。トロイカ方式が浸透すれば、「現」の考えを中心に「直前」と「次

期」が協力して継続的に活動することは可能だと考えています。

組織において、運営を担う役割は必要で、それをどのような形で受け持つかは大きな問題であると思います。役割を交代して務めることで、それぞれの立場を理解して行動していけるようになり、組織や活動への理解が深まり、お互いを尊重することにもつながるでしょう。構成メンバーによっては、交代制では務まらない場合もありますが、できる範囲内でいろいろな人が役員等の役割を経験するのが望ましいと考えています。

そう考えると、今回私が部長をお引き受けしたことは、良いことだったと言えます。経験の浅い私が部長という予想もしなかった役割を務めるとは、初めは本当に無謀なことのように思いましたが、支えてくださるキャビネットと協力してくださる六甲部の皆さんのお陰で、なんとか折返し点まで来ました。ありがたいことと感謝いたします。今までの部長さんや、西日本区の役員の方々のお働きを身近に感じ、責務を果たそうとする中で、学びや考えさせられることがたくさんありました。

少しでもワイズの活動を共有したいと考え、毎月部長通信を発行していますが、その内容が増えているということは、活動が少しずつ活発になっていることの表れだと嬉しく思っています。今期は、入会者も退会者もなく会員数は現状維持で推移しています。これから新型コロナが落ち着いて今までできなかった活動ができるようになることで、各クラブにおいては、例会やイベントにお知り合いをお誘いして、メンバー増強につなげられるのではないかと期待しています。

コロナ禍において、ハイブリッドでの六甲部部会開催、YYY余島シニアキャンプの実施、チャリティランと併催してのワイズメンズクラブ国際協会創立100周年記念植樹、これらの事業が主査の皆さんのお働きによって進められていることが前期の動きとしてありました。

また、今期デジタル小委員会が設けられ六甲部のデジタル化の底上げを図り、六甲部HPの改善も行われようとしています。

後期は、さらに各事業、各活動が実施され、その成果が現れることを願っています。

部長テーマ「寄り添い、分かち合い、三方よしでみんな笑顔」を目指し、皆さんと力を合わせ、気持ちを新たに進んでいきたいと思えます。引き続きよろしく願いいたします。

## 六甲部 2021-2022 年度上半期の活動

### <六甲部準備会>

2021年3月8日(月)

第1回次期六甲部主査・会長準備会

5月15日(土) 第2回次期六甲部主査・会長準備会

6月9日(水) 前期キャビネットと引継ぎ会



### <六甲部キャビネット会>

2020年12月7日(月)、2021年3月22日(月)、5月29日(土)、6月16日(水)、7月16日(金)、8月4日(水)、8月19日(木)、9月9日(木)、9月23日(木)、10月12日(火)、11月10日(水)、12月20日(月) 計12回

### <第1回評議会>

7月17日(土) 第1回評議会議案説明会(ZOOM) 42名参加

7月17日~31日 議案書面評決(各クラブ会長からのメール評決)(139名中、89名の議決参加)

承認議決された議案は以下の通りです。

1. 2020-2021年度部長活動報告
2. 2020-2021年度会計報告
3. 2021-2022年度部長活動方針・計画案
4. 2021-2022年度予算案
5. 2021-2022年度各主査活動方針・計画案
6. 第1号議案 「六甲部 ワイズメンズクラブ創設100周年記念事業『記念植樹』を行う件。また、それにあたって、実行委員会を設置する件」
7. 第2号議案 「2020-2021、2021-2020 HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTERの古本リサイクル活動推進と奨励金制度を新設する件」
8. 第3号議案 「部則の一部改定 ~第5条(部役員の選出)のガイドラインに指名委員会設置を追加」

### <部長訪問>

7月14日(水) 宝塚クラブ訪問

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二、山田滋己

7月15日(木) 神戸学園都市クラブ訪問

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二、山田滋己

7月21日(水) 芦屋クラブ訪問(ZOOM)

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二

7月28日(水) 神戸ポートクラブ訪問(ZOOM)

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二、山田滋己

8月24日(火) 神戸クラブ訪問

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二

9月10日(金) 西宮クラブ(ZOOM)

訪問者: 大野智恵、大野勉、水野雄二

9月21日(火) 神戸西クラブ訪問

訪問者: 大野智恵、山田滋己

## <六甲部部会>

「笑顔に感謝 笑顔で感謝」

9月25日(土)に開催された六甲部部会では、コロナ感染拡大のために開催が危ぶまれましたが、皆様がお気持ちを寄せてくださり、楽しい充実した時を分かち合うことができました。ただ、対面での交流ができなかったことが残念でした。参加者は神戸YMCAに集った新山兼司西日本区理事など西日本区キャビネット、六甲部キャビネットをはじめ、多くのZOOMでの参加者で120名を超えました。部会では須磨寺副住職の小池陽人さんの講演、レッツ・フラの披露など楽しく有意義なプログラムでした。

コロナ禍にあっても、創意工夫によって、六甲部の活動も力を合わせて前向きに進めていくことができることを、参加者皆さんが確認できる部会であったのではないのでしょうか。



部長あいさつ



講話 小池陽人 須磨寺副住職



祝辞 神戸YMCA 井上総主事



祝辞 西日本区新山理事



レッツ・フラ フラガール



現地参加者

## <デジタル小委員会>

9月6日に準備会が、第1回デジタル小委員会は10月4日に開催され、ハイブリッド例会が各クラブで取り入れられるように支援することが確認されました。第2回デジタル小委員会が11月1日に開催され、ワイズ活動のデジタル化に関して有効なこと(ハイブリッド例会の開催等)は少しずつ広げていき、各クラブの問題点に対して必要とされれば委員会の方から出向いて問題解決を積極的に行っていくということが共通理解されました。また、六甲部ウェブサイトの充実を図ることが広報につながり、活動の活性化につながっていくということから、今期は六甲部ウェブサイトの改善に力を入れることにな

りました。今後、デジタル小委員会の活動は、広報委員会とリンクしながら進めていくことになりました。

### <ロスター (HANDBOOK & MEMBERSHIP ROSTER) リサイクル活動>

会員の個人情報保護のため、並びに再生紙としてリサイクルすることでSDGs 実践（環境事業）につながっているため、地域奉仕・環境事業として取り組んでいます。各クラブでのロスター管理状況を調査し、回収してリサイクル業者（印刷元(株)洛陽）への送料を支援しています。

### <YYY 余島シニアキャンプ>

台風で開催が危ぶまれましたが、幸いなことに鬱屈した空気を吹き飛ばしたかのような晴天の下、参加者の皆さんがシニアからヤングに戻って余島で最高のキャンプライフを楽しまれました。六甲 HP にその記録が掲載されておりますのでご覧ください。

<https://www.kobeymca.org/ys/index.cgi>



### <神戸 YMCA/ワイズメンズクラブ六甲部パートナーシップ委員会>

11月15日(月)、パートナーシップ委員会から2名、神戸 YMCA から3名、六甲部部長と次期部長の7名によって、YMCA とワイズメンズクラブ六甲部の現況についての共有したうえで、各活動予定について話し合われました。今後予定されている YYY フォーラムは、神戸 YMCA 会員増強委員会と共に、ピンクシャツデーに関しては、神戸 YMCA 国際委員会で検討の上で、ワイズは協働する形で関わっていきます。

### <第23回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2021>

昨年は、新型コロナウイルスの影響で大会を中止せざるを得なかった神戸 YMCA チャリティーランですが、今年はなんとか工夫をして実施しようと計画されました。タイムを競う形ではなく、各自都合の良い場所と時間で、歩いたり走ったりした記録を報告する「WEB参加」と、しあわせの村に集まって参加する「会場参加」の二つの方



式が準備されました。前日の雨も上がり、会場には全体で約 150 名の方が参加され、しあわせの村内の 2 つのコースを個人のペースで歩いたり走ったりする姿がありました。コースポイントに立って誘導してくれるユースリーダーのおかげで、秋の一日、体を気持ちよく動かして楽しみました。プログラムの合間に、ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年のお祝いをして、六甲部の記念植樹を行うこともできました。

#### <ワイズメンズクラブ創設 100 周年記念事業「記念植樹」>

8 月 30 日（月）記念植樹実行委員会準備会 15 名参加

9 月 27 日（月）第 1 回記念植樹実行委員会 14 名参加

10 月 25 日（月）第 2 回記念植樹実行委員会 13 名参加

11 月 23 日（祝）チャリティーラン開催中のひと時、実行委員会のメンバーをはじめ各クラブからも総勢 40 名の参加があり、事前に準備された樹齢 10 年のソメイヨシノに六甲部発展の願いを込めて順次土入れを行いました。その後、各実行委員から「みんなの願い」として植樹に込める思いを語ったり、記念撮影を行ったりして短時間ながらも充実した 20 分の植樹式を無事終了しました。

支柱の横木には、東日本区元理事原俊彦ワイズ作成のプレートをつけたり、神戸新聞でワイズメンズクラブの紹介をしてもらったり、CS 事業を広報にも広げていくことができました。



長年 YMCA との協働で行っているプログラムの開催場所に植樹を行えたことは、大変意義のあることとなりました。今後も、機会を作ってしあわせの村を訪れ、ワイズメンズクラブ六甲部の発展を願う気持ちを持ち続けながら見守っていきたいものです。今回の植樹プロジェクトを通して、皆様との協働により「寄り添い、分かち合い、三方よしでみんな笑顔」という今期の部長主題にある姿を見ることができたことに改めて感謝します。

来春には、神戸の玄関口の一つである新神戸駅から南へ続く桜の名所生田川公園、さらに、神戸一の市民の憩いの場である東遊園地には、大規模改修工事を終えた後、植樹を行う予定で、このように、継続事業として取り組むことは次期六甲部長とも合意されています。

2023 年に開催される第 3 回ワイズメンズクラブ東西日本区交流会を機に、参加された皆様が神戸の街を散策され、それぞれの公園を巡っていただけるようなことができれば幸いです。

#### <広報>

・部長通信 7 月号（7 月 10 日会長宛発信）、8 月号（8 月 7 日発信）、9 月号（8 月 28 日発信）、10 月号（10 月 1 日発信）、11 月号（10 月 31 日発信）、12 月号（11 月 30 日発信）

- ・六甲部ホームページ更新
- ・神戸新聞掲載「ワイズメンズクラブ 100 周年（記念植樹・チャリティーラン）2021 年 11 月 24 日朝刊
- ・六甲部部報<冬号>発信（2022 年 1 月）

## 各クラブ上半期トピックス

### <神戸クラブ>

会長 井出 浩



コロナ感染症対策のただ中にワイズ新年度が始まりました。キックオフから ZOOM 併用で、会場参加の人数を極力抑える形の例会開催が続きました。8 月には、大野智恵六甲部部长、大野勉アジア太平洋地域会長が会場で参加くださり、メッセージを頂きました。今期、西日本区では EMC に力を入れています。神戸クラブでは、主任からのメッセージからヒントを頂き、クラブに期待するもの、楽しみ、出来ていること、足りないことをメンバーに考えてもらい、その結果をもとに、8 月、10 月の例会で私たちの活動についての意見交換を行いました。それぞれの思い、考えを具体的な行動に落とし込むことがこれからの課題となっています。

ZOOM 併用でなかなか一同に会せない中、11 月はチャリティーランとワイズ 100 周年記念植樹式への参加を例会としました。戸外であれば密にならず、直接顔を合わせる良い機会です。また、チャリティーランの会場に足を運ぶことで YMCA を応援する気持ちを伝えたい、記念植樹に参加する事でワイズ 100 周年をこころに刻みたい、という思いもありました。予想外に寒い中、短い時間でしたが、対面で過ごす時間を楽しむことが出来ました。

最後になりましたが、9 月には前年度新入会員の古川通大ワイズのメンバースピーチに刺激をうけ、11 月には瀬戸山陰部部会の中で、米子クラブとの DBC 交流を行ったことをご報告します。



### <西宮クラブ>

会長 廣瀬一雄



7 月の例会は通常どおり西宮 YMCA で実施。8 月は納涼例会を計画し、多くのメンバー・メネットとゲストをお迎えする予定でしたが、残念ながら中止。さて 9 月はどうでしょうか？ということで・・・六甲部長公式訪問をオンラインで実施しました。

日時 2021 年 9 月 10 日(金) 18:30~20:00  
会場 西宮 YMCA

ズーム例会 ハイブリット  
ドライバー 万本敬一メン・石井恭子メン

1. 開会点鐘 廣瀬会長

～中間省略～

5 部キャビネットとの交歓会 (20分程度)  
大野六甲部長 水野書記 山田会計

～以下省略～

そしてブリテンの次第の末尾にはこのお知らせ

9月2日(木) 14:00 からリハーサル実施。

・ZOOM 準備および招待メールの発信は藤田メン

参加方法は、西宮 YMCA のメイン会場に集合するか、各自の PC または携帯で参加。

10月ブリテンにはドライバーの9月例会報告が。

初の試みに、西宮クラブにはそぐわないのでは、との心配もありましたが、約1年ぶりに例会に参加できたり、足の状態で ZOOM は有り難い、普段会えない人の顔が見れるなどのメリットもあり、概ね好評の感想を頂きました。



### <神戸西クラブ>

会長 大田厚三郎



#### 『WACCA の母子と合同クリスマス会』

12月5日(土) WACCA (女性やシングルマザーと子どもたちのための支援団体) と合同のクリスマス会が開催されました。昨年はコロナウイルス感染防止のため残念ながら中止となりましたが、今年は WACCA の 11 組の母子とスタッフ、そして神戸西クラブのワイズメンが参加し、マジックショーやキャンドルサービス、そしてサンタさんからのプレゼントタイムなど楽しい時間を持つことができました。

WACCA と合同プログラムは、確か4年前に神戸クラブと共に行った大蔵海岸での BBQ が初めてだったと思いますが、普段このような機会が少ない母子にワイズとして何かできないことはないか?ということがきっかけでした。その後、活動場所が近いということで神戸西クラブが合同クリスマスを企画、共催してきましたが、参加された親子は本当にこの時を楽しみに待っておられたということで、過去に参加されたお母さまから暖かいお手紙も頂戴しました。そしてこれまで面識も無かった親子同士がこのような行事に参加することをきっかけに、公園で遊ぶ約束までしていた、と WACCA のスタッフも喜んでおられました。

私たちのできることは小さく些細なことかもしれませんが、「楽しみにしている」との声や参加者の笑顔は私たちワイズにとっても大きな励みとなります。これからも地域の中で活躍していけるワイズとして活動を続けていきたいと思っています。



## <神戸ポートクラブ>

会長 宮内伸浩



本年度はワイズ歴の短い私、宮内が会長を拝命しました。そこで、少し我儘を通させていただき、会長主題を「メンバーを知ろう、活動を知ろう」といたしました。私を含め活動歴の浅いワイズ

に対し、そのことがメンバー定着という意味での EMC につながると考えたからです。主題の具体化策として、卓話をクラブメンバーに割振り、自身について、あるいはクラブ行事について話していただきました。半期経過した現在 8 名のワイズにお話しいただき、行事について、ワイズご本人について理解が深まりました。コロナ禍のなか、対面での例会がなかなか開けない時期もありましたが、メンバーの IT リテラシーが比較的高く、リモート環境での例会がスムーズに運営できたことが幸いでした。リモート環境開催の副産物として、石巻広域、東京むかで両 DBC クラブのワイズ諸氏に手軽に参加していただけたことを挙げます。恒例行事のうち、真生塾夏祭りは残念ながら中止となりましたが、オリンピッククリスマス会には、リモートで参加させていただき、楽しい歌声をお届けすることができました。また両施設にはじゃが芋もお届けしました。



## <宝塚クラブ>

### 前期会長雑感

会長 福田宏子



当初、このコロナ禍で、また慣れない会場で、どのような活動が展開できるのか？とかなりの不安と迷いを抱いていたが、やるからには「楽しい例会にしよう！」と気分を切り替えての出発であった。スピーカーには EMC の思いも含め、是非若者を起用しようという思いもあった。幸い関西学院高等部で出会った彼らが今や 40 歳!! 良きも悪しきも様々な経験を重ね、人間的にも成長し、我々も彼らより大いに学ぶ点が多いのでは？と言う期待が多にあった。まず、異職業、日程等を検討すると、そう簡単なものでなく、かなりの難題と判明し、10 年前の会長業とは随分異なったものだと実感した。

た。

8 月例会、阪急山本の「庭樹園」の阪上広樹氏による「緑が人間に与える健康効果について」では、緑の威力の素晴らしさを学び、Y'S メンズクラブ 100 周年記念植樹について多大な助言をいただき、第一回目の植樹が 11 月 23 日、神戸「しあわせの村」で植樹式が挙行政、来年の染井吉野の開花が楽しみであり、続く生田川河畔の二度目の植樹、そして三度目の神戸東遊園地と…夢と希望を与えてくれている。

9月例会：「イスラエルからのメッセージ」と題して活けるキリスト一麦西宮教会の鶴岡徹也牧師より、イスラエルの現状、世界三大宗教が所狭しと混在し、宗教力の偉大さ、国力の強さ、非常な勤勉かつ賢明な国という説明を受けた。非常に魅力を感じた国であった。

10月例会：「ワイズへの思い」田上 正メン（熊本むさしクラブ）次期西日本区理事に ZOOM において、お話を伺った。田上メンの広くて、暖かく相手の立場になって物事をお考えになるお気持ちが相手に感動をお与えになり、結果として膨大な EMC 活動につながったとのことで、次期西日本区の理事としての御働きと展開さがとても楽しみである。

11月例会：現在、世界中で問題化されている「SDG s」、地球のみならず宇宙まで汚染されている現状は何を語らん？ 人類たちが今までになしてきたその見返りは、我々の子孫に及ぼすのは否定できない。「SDG s と法務」と題して三村雅一弁護士によって、卑近な例を数々列挙され、理解しやすく解説を施して下さったのは、感謝である。明石こども園に関しても、御助言を伺っている次第である。

12月大阪土佐堀クラブと宝塚クラブ合同クリスマス例会は、新宝塚ホテルでとの強い要望で、実現に向けて検討を重ねた。幼少の頃からピアノ演奏に専念し、高等部時代でも海外のコンクールに参加をし、たゆまぬ努力をなしてこられた大久保有記氏に礼拝時の音楽、クリスマス・ランチ後のピアノ演奏（バッハ：イタリア協奏曲、ショパン：ポロネーズ、リスト：愛の夢）等依頼、また氏はこの3月 N.Y.近郊のバッファローの合奏団に属していた際の曲がグラミー賞を受賞。サラリーマンでも受賞できるという希望を与えてくれた。

また、宝塚クラブ恒例の市民クリスマス：ちなみに今年は“ONE CHRISTMAS”として12月18日、出演者、観客数、講演時間等の大幅な削減でもって、地域の方々と可能な限りの工夫を駆使し、会場が一体となってクリスマスを祝うことができたのは、大きな神様からの贈り物であり、感謝である。



## <神戸学園都市クラブ>

会長 田辺征一



「アンタアホヤ（みんなきょうだい）の精神で明るく楽しいワイズダムを！」を主題に交流の活発化を目指したが、コロナの長期化により当初の目的が十分に達成されているとは言えない。ZOOM を使う会員が少なく、第一・第二例会とも西神戸 YMCA で行っている。

・7月例会「私とワイズ～第3の人生～」大野勉（神戸ポート）ワイズに YMCA とワイズメンの出会いを語っていただいた。DBC2 クラブがリモート参加。

・8月例会「ビデオレターと EMC 」大岩雅典ワイズ（芦屋）にビデオ収録に込めた思いを語っていただいた。DBC2 クラブにも呼びかけた ZOOM 例会。

・9月例会 ローンボールがコロナで中止となり急遽8月例会で観なかったビデオレターを鑑賞

- ・10月例会 YMCA主催のワイワイまつりでバザーを担当
- ・11月例会 チャリティーランおよび記念植樹祭に参加
- ・12月例会 例年はYMCA教職員、リーダーとの合同クリスマス会を持っているが、この2年間できていない。昨年に引き続き、丹羽和子牧師をお招きし、クリスマス礼拝を持った。

その他、7, 9, 11, 12月の第4日曜日に学園都市自治会の地域清掃活動に参加。今後も継続する。

### <さんだクラブ>

会長 安行英文



さんだクラブは、上半期は前年度できなかったバレンタインコンサートを地域のコンサートに変え、オータムコンサートとして11月3日(水)にピアノとエレクトーンとコラボ演奏会を開催しました。今回はコロナ禍での音楽活動を通じて、楽しさと生活に潤いを持って帰ってもらおうと、急遽企画し、長年継続している地域奉仕へのさんだワイズメンズクラブの伝統を守りつ

つ、皆さまに楽しんでいただきました。また、昨年からはじめた、枝豆の栽培は、今期厳しい気象条件で出来栄えがさほどではなく、枝豆の不作の年となりましたが、全員で取り組み、収穫を経て、手作りで袋詰めをして、選りすぐりの豆を提供できたと自負しております。どうぞ、次年度もお求めください。地道ながら、さんだクラブらしく出来ないことだらけですが、片意地はらず歩むことにしております。下半期もよろしくお祈いします。



### <芦屋クラブ>

会長 大岩雅典



芦屋クラブは、他クラブ同様活動が大幅に縮小させられた年でした。その様な状況の中でも、奉仕活動はクラブ員相互でアイデアを出し合いコロナ禍ながらも出来る範囲で活動を続けてまいりました。先ず、リモート会議、不慣れなメンバーも多かったのですが、会員3分の2までは参加できる環境を整備し、さらに増やせる状況まで到達することができました。

余島のキャンプについては、一円キャンプに寄付しました。そして、YMCAに対しても、芦屋クラブ活動余剰金の中から20万円の献金をいたしました。クラブ内では、芦屋クラブが支援しているみどり作業所に対し例年通りの献金5万円に



加えコロナ対策に役立つ空気清浄機を寄付いたしました。そして、今年はビデオ配信を活用し、みどり作業所への授与式風景やしあわせの村植樹、例会の卓話内容、余島キャンプからのビデオレターなどを会員に情報共有してもらうことに成果を得ることができました。

他にも芦屋クラブとしてデジタル小委員会に積極的に参加し、六甲部のさらなる発展に寄与することができたと思っています。今期後半もクラブ内、六甲部の発展に貢献していきたいと思っています。

#### <編集後記>

長いコロナ禍が依然として続く中、2021-2022 年期上半期の六甲部活動を実行してきました。六甲部の皆様には慣れないパソコンやスマホに向かい、デジタル情報やリモートによるコミュニケーションに苦闘された方もおられたのではないのでしょうか？ 部運営につきましても皆様にパソコンやスマホを通してのコミュニケーションに頼ってしまい申し訳なく思っています。この部報もペーパーレスの時代でもあり、メールでの配信とホームページ掲載に留めさせていただきました。皆様の多大なご理解、ご協力とご支援に感謝いたします。

特に各クラブ会長の皆様には、評議会、六甲部会をはじめ、日常のご面倒をおかけしました。感謝します。下半期も同様のお願いが続くかと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

六甲部キャビネット